

中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所
地域教育支援スタッフ

no

4

TEL 0551-23-3008

FAX 0551-23-3013

チュウホク ドット コム

中北の地域社会 (COM munity)の心の交流 (COM munication)をめざします



甲府 きょういくの日制定記念事業
甲府市総合市民会館 20周年記念事業
甲府大好き「こども祭り」
郷育フォーラム 2010

盛大に開催されました

10月24日(日)に、甲府総合市民会館において、甲府大好き「こども祭り」と、郷育フォーラム2010が、同時開催されました。全館を使って、30以上のイベントが開催されました。山梨日日新聞によれば、約2100人が来場したそうです。

とても、全体とポイントをご紹介できませんが、見学に行った本情報誌の記者の感想をお伝えしたいと思います。

まず最初に、山の都アリーナで、オープニング演奏の後に、開会セレモニーが行われました。甲府大好き「こども祭り」の岡尚志実行委員長さんのお話でも、「このイベントを成立させるために、教育委員会と市民が十数回会議をしました。その過程でたくさんの方が見えてきました」という意味のことをおっしゃったことが印象的でした。行政と市民が一緒になって協働することの実践として、素晴らしい祭りが実ったと思います。

また、雨宮誠郷育フォーラム2010 実行委員長さんの「大人が変われば子供が変わる。『つながり、つなぐ』を大切にしている」という精神で実施しているという趣旨のお話も心に残りました。甲府市小中学校PTA連合会も積極的に参加しております。行政と市民の協働で作上げたイベントの色彩が、いたるところに出ていました。

社団法人甲府青年会議所などが中心となって同時開催された「郷育フォーラム2010」では、メインフォーラムとして、山梨県私立幼稚園PTA連合会の主催で、服飾評論家/エッセイストの市田ひろみ氏を招き、「今こそ家族の絆を」と題して、「父親を考えるフォーラム」が実施されました。市田氏の幅広

い経歴の中から、楽しくも深いお話を聞くことが出来ました。

午後は、(社)甲府青年会議所のヒーロー育成事業修了式・事業報告会に参加しました。未来のヒーロー育成事業は、HPによると『まちを元気にする未来のヒーロー』の育成を通じて、地域の将来を担うであろう子どもたちが、「勇気」と「思いやり」と「郷土愛」を持った人財として成長してもらうことを目的としている」そうです。記者は、甲府城の石垣の悪戯書きを消したことをニュースで見て、興味を持っていたのですが、この修了式に出てみると、実は5つのミッションがあり、そのミッションの中で、

子どもたちが、甲府の「思いやりマップ」を作り、問題解決事業を考えて、県庁を訪問して訴えたり、



ヒーローたちへの感謝状贈呈式です

甲府城の石垣の悪戯書き消しを行おうと考えて、実行したということでした。素晴らしいですね。

他にも、素晴らしいイベントがたくさんあったのですが、ご紹介できないのが残念です。ぜひ、(社)甲府青年会議所の下記ホームページもご覧ください。

<http://www.kofujc.com/>

放課後の子どもの居場所確保に！

地域社会の中で、放課後や週末等に子どもたちが安全で安心して、健やかに育まれるように、文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」を一体的あるいは連携して実施するべく平成19年度より『放課後子どもプラン推進事業』がスタートしました。

峡北地区の蕪崎市では穂坂小学校区で、北杜市では市内7カ所で本事業を展開しています。

地域の多様な方々の参画を得ながら、子どもたちとともに学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を行う取り組みの様子の一部を紹介します。

蕪崎の「穂坂教室」では、市内在住のインストラクターにエアロビクスを指導してもらっていました。体全体を動かし、子どもたちは気持ちいい汗をかいていました。

「ワクワク教室むかわ」では、ビニル袋を8角形に切り開いて「パラシュート」作りに取り組んでいました。完成を待ちきれずに、室内で飛ばし始める子どももいました。

「ワクワク教室 kids こぶち」では、ハロウィンの時期ということで、仮装用のマントやステッキ・お化け帽子を作りました。完成後は、「Trick or Treat」と言って、手作りのポップコーンをいただきました。

「手作り教室おもちゃばこ」では、ハロウィンのかぼちゃバックに引き続き、 Denguriシートを使って、雪だるまやハロウィングッズを作りました。ボランティアの方だけでなく、この日は中学生もお手伝いに来てくれ、低学年の子どもに優しく教えていました。



音楽に合わせてダンス (蕪崎:穂坂)



ビニール袋を切って、パラシュートに(北杜:武川)



マントをつけて、Trick or Treat(北杜:小淵沢)



Denguriシートで雪だるまを作ろう(北杜:日野春)



布バッグに豆乳で絵を描き、染めていきます(北杜:須玉)

「ワクワク教室すたま」では、「染め物」にチャレンジしていました。布製のトートバックに豆乳で下絵を描き、ドライヤーの冷風で素早く乾燥させます。この時点で、描いた絵はまったくわかりません。マリーゴールドやタマネギの皮からとった汁等で煮詰めていくと、だんだん絵が浮かび上がってきて、子どもたちも満足そうでした。

すべての子ども教室で共通して言えることですが、事前準備や打ち合わせがきちんとできている上、子どもの安全に配慮しながら、手際の良い指導に感心させられるばかりでした。

蕪崎市生涯学習フェスタ'10

平成22年10月30日(土)・31日(日)の2日間、『蕪崎市生涯学習フェスタ'10』が東京エレクトロン蕪崎文化ホールにて盛大に開催されました。これは、蕪崎市が「生涯学習宣言都市」としての功績を生かし、市民一人一人の生きがいを助長するために、実践発表・芸術鑑賞・制作活動発表等を通じ、地域の特色を生かした「生涯学習まちづくり」を推進するとともに、文化活動への参加意欲を喚起し、生涯学習のより一層の推進実践の輪を広げていくことを目的として、第32回生涯学習推進の集いと第55回蕪崎市文化祭を同時開催したものでした。

1日目の開会式終了後には、蕪崎市文化協会による市内園児・小中学生の美術部門と書道部門の表彰式が行われました。その後は、文化協会邦楽部・朗読部・ダンス部など各部の発表や、市内の中学校・高等学校の吹奏楽部や太鼓隊の発表など、多彩な内容の発表が続きました。また、会場の展示室やハワイエには、子どもから大人までの絵画や書道及び文芸作品などの力作がたくさん展示されてありました。

2日目午前中は、市内にある12の公民館による舞踏やダンス、楽器演奏の発表と、日頃の学習活動等の成果を発表し合いました。午後は、落語家「桂才賀」さんの記念公演『子どもを叱れない大人たちへ』でした。

生涯学習宣言都市としてふさわしい内容ばかりで、盛りだくさんの2日間となりました。



蕪崎シティジュニアコーラスによる元気な歌声



エントランスに展示された菊の花(受賞作品)

高資格取得と人づくり 甲府商業高校

独自のキャリア教育 甲府商業高校の教育の第一の柱は、「人づくり」です。商業の専門科目の学習や数多くの実績を誇る部活動を通じての規範意識の醸成やコミュニケーション能力の育成を行っています。これはそのままキャリア教育の柱でもあります。

同校は、インターンシップ(就業体験)や「課題研究」の授業『現場実習』(後述のデュアルシステムに相当します)、『ビジネスマナー基本と実践』等のキャリア教育の体系を整えています。商業の実習をとまなう科目には、工業・農業の専門高校にあるような国あるいは県の支援事業がありませんが、それを補って余りあるのは百年を超える伝統にもとづく支援です。経済界をはじめとする各界で活躍する多くの同窓生やその関連企業の協力があります。もちろんこの力は生徒の進路実現にも生かされて有利な環境をつくっています。

重ねてきた確かな実績 「高資格取得」は同校教育の第二の柱です。これも生徒のキャリア発達の基礎となるものです。「検定1級3種目以上取得者100名以上を目標とした取り組みを通して、学力の定着をはかる」ことが重点とされ、生徒は各種検定試験で多くの高度の資格を

違いは!?

税理士	公認会計士
税務業務	専門業務
税務代理	会計業務
帳簿簿籍の作成	独立業務
依頼相談	会計監査
中小企業	上場会社及び大企業
—	その他
	税理士としての資格が可能。

税理士と公認会計士とは、専門としては業務が分かれているために、個々の独立して行うことのできる業務も変わってくる。また公認会計士は資格を取得すると、税理士の資格も取得したことになり税理士としての登録をすることができ、そのため業務内容が公認会計士の方が広い。

資格の取得方法の違い

税理士	公認会計士
科目ごとの受験ができる。科目ごとの合格	第1次～第3次まで制、全科目を一掃で受験し合計で合格
必須2教科 簿記検定(簿記検定) 2科目 所収税・簿記検定 簿記検定・簿記検定 簿記検定・簿記検定 簿記検定・簿記検定 簿記検定・簿記検定 簿記検定・簿記検定	第1次 - 一般教養(国・数・語) 第2次 - 会計学(簿記・簿記) 第3次 - 会計学(簿記・簿記)

税理士の場合、科目ごと合格、不合格がでず公認会計士(全科目を一度に受験し合格しなくてはならないため、難しくなる)

どちらの方が良いの?

公認会計士は、同時に税理士の資格も取得したことになるが、独立開業を目指す人は税理士の方が良い。なぜなら、どちらも独立して

『現場実習』の事前調査レポート
税理士と公認会計士を丹念に比較しています

取得してきました。この点は他の専門高校でも同様ですが、同校はとりわけ重視し、顕著な実績をあげてきました。

伝統と活力 活発な部活動、「甲商デパート」(生徒が、仕入れ、販売、会計処理まで商業実習として取り組む企画)等で賑わう紫紺祭(学園祭)など多くの取り組みに伝統を感じます。その伝統を伝統だけに終わらせず、県下トップクラスの実績に繋げていることが同校の強さではないでしょうか。

「生命」・「環境」・「食」を育む教育 農林高校

専門技術・技能のレベルアップ 農林高校は、この十年余りのいわゆる高校改革の過程で教育活動の見直しを行なってきました。その変化の中心は、キャリア教育・人材育成でした。専門高校の強みは、その分野での技術・技能の高さにあります。同校キャリア教育の第一の柱は、そのレベルアップです。それは「食・暮らしを支える専門的職業人育成事業」(地域産業担い手育成プロジェクト)を軸に行なわれています。第一線にある企業や農家、県立農業大学校等の技術力を取り入れ、インターンシップ(就業体験)、デュアルシステム(企業実習)、先進地見学、スペシャリスト講座、栽培技術指導等の多様な内容が展開されています。

インターンシップは、5日間の設定で、各学科が協力事業所を開拓し確保して実施しています。他校にない長さで希望する分野や職種で現場経験を積み、専門分野の学習や就職への動機付けになっています。

デュアルシステムは、3年生が協力事業所で毎週1日(6時間)の実務に携わるものです。通年にわたる実習ですから、専門の技術・技能

だけでなく、実際の経済や社会に対する感覚や職場での人間関係も経験します。現場に通い続ける生徒も大変ですが、面倒を見る事業所の負担には大きいものがあります。経営者の方にお話をうかがうと、「うちには農林の卒業生が多いですからね」とのことでした。同校の伝統校としての資産を垣間見た思いがしました。

県立農業大学校とは、栽培技術指導をはじめ多くの交流があります。これは高校3か年、大学校2か年の合計5か年の系統的な地域農業者



食品科学科は、(株)清月とともに『桃のシュークリーム』を共同開発しました

育成も考慮したものです。広く提起されつつある上級学校との連携の先駆的取り組みとしても注目すべきものです。

基礎学力の向上 同校キャリア教育の第二の柱は、専門教育の基礎として、また進路実現の基礎としての学力向上対策です。特色あるものとして、普通教科で学期ごとの到達目標を設定し、年間4回（3年生は3回）行なう基礎学力試験があります。事前学習と事後学習も含めての実施であり、到達目標に向けての地道なフォローを行なうシステムになっています。

積極的な進路指導 同校キャリア教育の第三の柱は、積極的な進路指導です。ここではそのなかから今年度から始まった「日常・ビジネス

スマナー講習会」を紹介します。これは、1・2年生が合計10回にわたり実社会で求められるマナーを学ぶものです。1年生からこのようなことを学ぶことは珍しいことですが、同校は生徒が早い段階から社会人となる自覚を持つとともに就職意識を高めて進路実現が出来るよう積極的な進路指導の一環として導入しました。時代にあった専門高校へ 専門教育を総括する農場長の村松泰直先生にお話をうかがいました。「様々な外部の力を取り込むことで先生たちは新しい風を感じました。それを生徒に還元するよう努めてきました」とのことです。農林高校は「生命」・「環境」・「食」を教育の柱にして時代に対応した専門高校を目指しています。

総合学科で自分の未来を設計する 甲府城西高校

総合学科高校とは 甲府城西高校は山梨県初の総合学科高校として開校し、14年目に入りました。総合学科は、生徒それぞれが自分の進路に必要な科目や興味・関心のある科目を数多く用意されたなかから選択することを特色としています。主食や主菜・副菜などがあらかじめ取りそろえられたセットメニュー（定食）を食べるのではなく、自分の必要や好みでいくつかの料理をオーダーして食事をとると似ています。

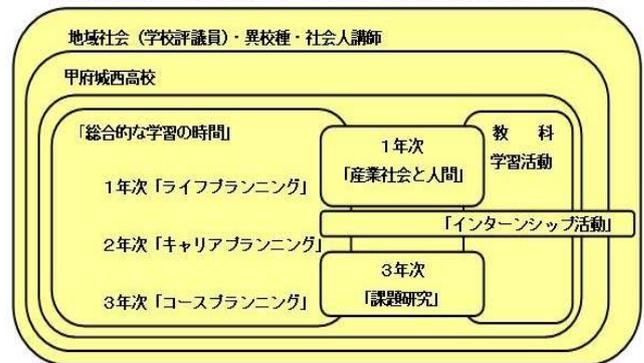
「産業社会と人間」・「総合的な学習の時間」 様々な進路のための自由で柔軟な対応・選択が可能といえますが、それだけに将来の生活や職業について考えることが必要です。総合学科では、そのための時間があります。ガイダンス科目「産業社会と人間」（産社）と「総合的な学習の時間」（総学）により、1年次生の自己理解、職業や上級学校の研究、系列の理解や履修科目の選択、ライフプラン表の作成等から始まり、3年次生それぞれの学習のまとめとも言える課題研究までの学習体系が出来ています。

根強い人気の総合学科 これまで総合学科高校あるいは総合学科は、中学生の進路希望者が定員を上回ってきました。県教委の「高校改革アンケート」

では、在校生の多くが満足感を示しています。この理由について「産社」・「総学」の担当主任の先生は、「総合学科の汎用性でしょうか。本校には8つの系列があるので多様な選択が可能であり、進学にも就職にも対応出来ることだと思います」としています。

総合学科のメリット 専門分野（系列）あるいは学習する科目を「選択出来る」ことが一番のメリットです。それに対して「普通科（普通科高校）、専門学科（専門高校）は、入学後の選択科目が総合学科ほど多くはありません。総合学科高校を選べるようになったことは高校改革の成果と言えます。

「産業社会と人間」・「総合的な学習の時間」から「課題研究」まで（甲府城西高校）



専門性を重視した総合学科 北杜高校総合学科

自己の適性や進路に応じた系列学習で学ぶ 北杜高校には、総合学科、普通科、理数科が設置されていますが、ここでは総合学科についてご紹介します。

北杜高校総合学科は、県下の他の総合学科高校にはない「食」・「農」を学べる生物資源系列を含めて5つの系列があります。他の総合学科高校と同様に、ガイダンス科目「産業社会と人間」、「総合的な学習の時間」により生き方や進路について、あるいは各教科・科目

の履修計画等を学ぶようになっています。2年次以降には生徒それぞれが自分の生活設計にもとづき科目選択をしていきます。甲府城西高校などと異なる点は、2年次からの科目選択で、ある一つの系列から一定数以上の単位を選択することを定めていることです。生徒が重点を置いて学ぶ系列を決めることで、専門性が高い分野を持つことを目指しています。総合学科の一つの在り方を示しています。

平成22年度『中北.com』No.4
編集・発行 千407-0024 韮崎市本町4-2-4
中北教育事務所地域教育支援スタッフ 電話 0551-23-3008
ファクス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>